



TITLE:

# 大学図書館界の動き 近畿地区国公立大学図書館協議会 第2回館長・事務(部)長懇談会

AUTHOR(S):

CITATION:

大学図書館界の動き 近畿地区国公立大学図書館協議会 第2回館長・事務(部)長懇談会. 静脩 1977, 14(3): 6-6

ISSUE DATE:

1977-11

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/36785>

RIGHT:

## 附属図書館蔵書移動作業完了のお知らせ

10月25日より12月2日まで、土曜日を除く27日間行われた附属図書館の蔵書移動作業は予定通り無事終了しました。附属図書館は2年前の、昭和50年12月にも今回と同様約10万冊をこえる冊数の図書移動を行っています。以来、早くも今年度同じ新書庫の蔵書の大移動を余儀なくされることになりました。その理由は、前回と同様、新書庫の図書収容可能冊数が、ほぼ満杯となり、新しく納庫される図書を所定の書架に配架できなくなってきたからです。今回の移動作業には、10名の学生アルバイト延270名を採用して行われました。本館の蔵書構成は御存知のとおり、人文科学の和漢書が多く、自然科学の蔵書が少ない。今回の移動も、特に増加の著しい和書、三門（経済・社会）、四門（文学・語学）、五門（歴史・地理）の単行書と、和洋の寄贈・購入雑誌が中心となりました。

このため、二層にある洋書約2万冊（一～六門及び七門の一部）を旧書庫に移しました。そのあとの空書架へ満杯となっている全体の図書を順次前後に移動するということになりました。これでとにかくさし迫った納本配架の危機を避けることができました。もし今回の移動が行われなければ、図書館利用者の閲覧・貸出し請求があっても、館員がその図書を取出そうとする場合、先日返却され、貸出しにもなっていない図書が行方不明となるなど、利用者に多大の不便をかけるばかりか、館員として、非常に恥ずかしい釈明をしなければなりません。幸いにして、館員、利用者の御協力を得まして移動作業も予定どおりの日程で無事完了することができました。この作業期間中、学内の皆様に少なからぬ御不便、御迷惑をおかけしましたことをおわびいたします。

## 近畿地区国公立大学図書館協議会 第2回館長・事務(部)長懇談会

9月5日（月）大阪・なにわ会館で開催。まず館長懇談会と事務（部）長懇談会とが各々別に分かれて進められた後、更に引き続き合同懇談会が開催された。

館長懇談会では、①図書館職員の地位の向上、交流、構成、②図書館の新築及び改築、③館長の任期、④資料館及び資料センター、⑤視聴覚資料、⑥図書の選択機構等について意見の交換が行われ、事務(部)長懇談会では、①標記懇談会の名称や議題の標示方法、②図書館の管理職の研修、③関西研究学園都市構想、④国公私立大学図書館団

体相互の連絡会、⑤外国雑誌購入についての学内調整の実情、⑥当協議会の相互協力委員会、⑦当協議会の会費徴収等について意見交換が行われた。

館長・事務（部）長合同懇談会では、①夜間開館、②図書館の新築、③相互協力委員会等について懇談が行われたが、このうち図書館新築に関連し、冷暖房の維持費が図書予算を圧迫している実情について報告があった。また相互協力委員会の設置については、もうしばらく機の熟するまで待つことに意見が一致した。

## 近畿地区国公立大学図書館協議会 昭和52年度 主題別研究集会（法学系）

10月14日（金）本学附属図書館会議室で開催。午前中は北川善太郎京大教授（法）から“法学研究者よりみた「図書館」”という題目で講演が行われ、午後は近畿地区の法学系資料を取扱ってい

る大学図書館に対して行ったアンケートの分析結果の報告と、アンケートで報告された問題点について討議が行われた。